

第 4 回会議資料

I	情報発信、集客、ファン拡大の取組	1 頁
①	北海道競馬におけるミニ場外の設置状況	3
II	J R A との相互発売を視野に入れた取組	4
①	薄暮競馬の実施状況	6
②	東京場外発売所での発売状況	8
③	岩手競馬における照明設備の状況	9
④	北海道競馬・高知競馬のナイター設備・発売状況	10
⑤	岩手競馬施設での J R A 発売額の推移	11
⑥	J R A ファンの来場・購買動向	12
⑦	岩手競馬のダートグレードレース・重賞競走の状況	14
III	開催形態別収支シミュレーションの方法（案）	16
①	自場発売の状況（施設別・曜日別・開催競馬場別）	20
②	広域受託・委託発売の状況	22
③	盛岡・水沢競馬場の概要	24

岩手競馬経営の将来方向検討会議

平成 2 3 年 2 月 2 1 日

I 情報発信、集客、ファン拡大の取組

1 基本的な考え方

(現状)	
○	レジャーの多様化や景気の低迷などの影響により、競馬ファンが減少しているとともに、高齢化が進んでいる。
○	そうした中であって、岩手競馬は、競馬の魅力を伝える情報発信が十分ではなく、馬や競馬が一般の人々にとって遠い存在になっているとともに、厳しい経営状況が続いていることなどにより、マイナスのイメージが先行している状況となっている。
(取組方向)	
○	岩手競馬をもっと身近に感じてもらい、イメージの向上を図るため、競馬ファンへのアプローチはもとより、これまで競馬になじみの薄かった若年層や女性などにも届くような情報発信にも力を入れるとともに、岩手競馬の歴史・伝統や地域貢献などを踏まえた情報発信や、競馬場を活用したイベントなどを積極的に展開する。
○	また、IT化や国際化の波に乗って、岩手競馬のマーケットを拡大していくことが重要であり、継続的にインターネット発売の拡大や外国人観光客誘致の取組を進める。
○	さらに、マーケットの拡大と併せて、売れる商品を作っていく必要があり、全国のファンも意識した魅力あるレースづくりに取り組むとともに、スターとなる馬や騎手の育成に中長期的に取り組む。

2 取組方向

(1) 情報発信

項目	取組方向
① 競馬ファン以外にも届く情報発信 岩手競馬を身近に感じてもらう取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構成団体の広報誌など、多くの人の目に触れる幅広い広報媒体を活用した岩手競馬のレース情報等の発信 ○ 馬の様子や、騎手・厩舎関係者の競馬に対する日々の真摯な姿を紹介するTV番組等の製作・放映への積極的な協力・働きかけ ○ 競馬は岩手県の重要な産業（地域の大きな経済主体、雇用、観光資源等）であることの継続的なPR ○ 岩手における競馬をはじめとした馬事文化への理解・関心の醸成、馬や競馬を身近に感じてもらう取組 ○ 地域社会における、観光振興、教育、福祉など、幅広い観点からの岩手競馬の活用
② 中長期の展望に立った経営の方向性の発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩手競馬の継続に向けた姿勢や経営の将来方向の提示によるアナウンス自体が一番のプラスイメージの発信 ○ 現場で働く厩舎関係者にとって元気が出るような施策が重要

(2) 集客、ファン拡大

項目	取組方向
① 幅広い客層 (若者、家族連れ、女性等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の岩手競馬ファン層(中心は60歳以上の男性)に加え、より幅広い客層(若者、家族連れ、女性等)に対するアプローチを強化 ○ 健全なレジャーとしての岩手競馬をPR ○ 競馬場を活用した各種イベント(B級グルメ、お祭り)の実施など、岩手競馬を身近に感じてもらう取組
② 東北各県等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 隣県(秋田・青森・宮城)における競馬空白地域などを重点地区として、岩手競馬ファン拡大の取組を強化 ○ 新幹線の青森延伸や、JR東日本と岩手県による観光キャンペーン(2012「いわてデスティネーションキャンペーン」)に合わせた取組 ○ ミニ場外の設置による各地の需要を掘り起こす手法なども検討
③ 外国人観光客	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国、香港、台湾、韓国などアジア諸国からの外国人観光客の誘致 ○ 県・市の観光振興施策や民間観光会社と連携し、競馬旅行の企画・商品化について、外国の旅行エージェント等へ働きかけ ○ ハード面(施設の改修、案内表示板の設置等)及びソフト面(外国人観光客に対する接客サービス等)について、受け入れ体制を整備
④ IT活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットによる岩手競馬レースの情報発信の内容・量の充実 ○ インターネット事業者と連携したインターネット会員増の取組
⑤ 競馬ツアーの企画・商品化	<ul style="list-style-type: none"> ○ JRや旅行会社等で運営している旅行会などのクラブに対する競馬観戦特別ツアーの企画・商品化の働きかけ
⑥ JRAファンへのアプローチ	(後述:「JRAとの相互発売を視野に入れた取組」)

(3) 売れる商品づくり(魅力あるレース、スターホースの育成等)

項目	取組方向
① 競馬場の特長を生かした競馬の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水沢・盛岡の両競馬場の特長を生かした体系的なレース編成の工夫 ○ 行ってみたいくなるような競馬場自体の魅力を引き出す工夫 <p>【例】</p> <p>水沢競馬場 ⇒ 開幕の時期と、秋・冬期間に開催</p> <p>盛岡競馬場 ⇒ 地方唯一の芝コースを活かし、暖候期に集中的に開催</p>
② 魅力あるレースづくり、スターホース、スター騎手等の育成等	<ul style="list-style-type: none"> ○ レース、競走馬という岩手競馬の商品価値を維持し高めていくため、一定レベルの賞典費を確保 ○ 中長期的な視点に立ち、スターホース・騎手をファンと一緒に育てていく取組
③ JRA・全国を意識したレースづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ JRAとの相互発売を視野に入れた、JRAのネット会員や全国で売れるレースづくりの取組

① 北海道競馬におけるミニ場外の設置状況

- 北海道競馬では、平成 20 年度から、民活型（オーナー方式）による場外施設の設置を展開し、これまで5か所を開設。
- 施設・設備は全て民間が負担して整備し、勝馬投票券の場外発売所として施設を賃借。
- 競馬事業の実施を委託されている北海道軽種馬振興公社では、賃借料として、売得金の一定額（入札により決定）を支払うほか、場外所長の配置、公金管理に係る経費等を負担。

（1）ミニ場外の設置状況

区 分	Aiba 石狩	Aiba 札幌中央	Aiba 登別室蘭	Aiba 琴似	Aiba 釧路
開設年月日	H20. 12. 9	H21. 6. 9	H21. 8. 18	H21. 9. 15	H22. 4. 6
所 在 地	石狩市	札幌市	登別市	札幌市	釧路郡釧路町
設 置 場 所	競輪場外 1、2 階の一部	競輪場外 2 階の一部	独立店舗	商用ビルの 2、 3 階	独立店舗
収 容 人 数	800 人	120 人	700 人	580 人	300 人
窓 口 数	発売 自動 3 払戻 有人 2 発払 自動 3	発売 自動 3 払戻 有人 1 発払 自動 2	発売 ー 払戻 有人 1 発払 自動 6	発売 自動 4 払戻 有人 1 発払 自動 4	発売 ー 払戻 有人 1 発払 自動 4
映 像 装 置	大型 200in 一般 44 台	一般 14 台	大型 80in 一般 32 台	一般 80 台	一般 32 台
H22 発売額	165 百万円	241 百万円	194 百万円	273 百万円	164 百万円

（2）設置・運営方法

- ① 一般競争入札方式で設置希望者を募集し、賃借料率、設置場所、規模等を総合評価し、落札者を決定
- ② 自動発売機・払戻機、トータリゼータ通信処理装置、映像放映装置・モニターなど、一切の施設・設備は落札者が整備。（個々の整備はオーナーの判断による。）
- ③ また、場外発売所の維持・管理経費（警備、各種システムの維持・運用等）は全て落札者の負担であり、北海道競馬の運営を委託されている北海道軽種馬振興公社は賃借料を支払い。
- ④ 北海道軽種馬振興公社では、賃借料のほか、場外所長の配置、公金管理に係る両替手数料及び現金輸送費、勝馬投票券及びマークカードの印刷に係る経費を負担。

（3）賃借料率

売得金の一定額（入札により決定）

（4）専用場外設置数（ミニ場外発売所）

15 場外（うち民活型 5 場外）

Ⅱ J R A との相互発売を視野に入れた取組

1 基本的な考え方

- J R A との相互発売は、J R A の電話投票会員（約 308 万人）をはじめ、全国の競馬ファンへの岩手競馬の発売拡大の絶好のチャンスであり、全国を意識して魅力あるレースを作っていく。
- また、開催日が J R A と競合する土曜日・日曜日においては、J R A との時間差を狙った競走日程を編成する。
- 平成 23 年度は、平成 24 年度内の相互発売の開始に向けて、その準備期間として位置付け、現場の厩舎関係者の意見も聴きながら、J R A や他の主催者との協議・調整を進める。

2 取組方向

① 全国のファンが、岩手競馬を購入しやすいような競走日程の編成

□ 現在の開催状況

- ・ 開催日（土日月）→ J R A 開催日（土、日）と重複
- ・ 薄暮競馬 → 日照時間の長い 5～9 月、最終レースの発走時刻を繰り下げて実施（J R A 最終レース終了後、岩手競馬は 1 レース施行）

■ 検討方向と課題

項目	課題
① 薄暮競馬の拡大	<ul style="list-style-type: none">・ 日の入り時刻から見て、最終レースをさらに繰り下げることは可能・ その場合、広域委託発売先の他主催者や J R A 施設の開場時間の延長が必要となり、調整を要する
② ナイター競馬の導入	<ul style="list-style-type: none">・ 現在の照明設備ではナイター競馬は不可能・ ナイター競馬を導入するためには、設備の新設が必要（財源確保）・ 収支効果を試算（自場発売の減が予想、開催経費が増加）

② 岩手競馬の発売施設で、主に J R A を購入するファンに対するアプローチ

□ 現在の状況

- ・ J R A のグレードレース施行日には、岩手競馬の発売額・来場者数の増加の効果が見られるものの、主に J R A のレースのみを購入する来場者も相当数あるものと推測

■ 検討方向と課題

項目	課題
① レースの工夫	<ul style="list-style-type: none">・ J R A ファンをも引きつける特徴のあるレース作り等の工夫が必要
② J R A ファンへの情報提供の強化	<ul style="list-style-type: none">・ J R A ファンに興味を持ってもらえるような場内での岩手競馬レース情報の提供手法等を検討

③ J R Aで発売可能となる商品力のあるレースづくり

□ 現時点（22.12月）におけるJ R A電話投票の発売対象となる可能性のあるレース

区分	J R A開催日	J R A非開催日
発売対象	重賞競走 施行日	(発売不可)
	ダートグレード競走及び1着賞金1千万円以上の重賞競走 施行日	
岩手競馬の場合	11日（22年度）	3日（マーキュリー・クラスター・南部杯） ※岩手競馬に1千万円以上の重賞競走なし

※ J R Aと地方競馬主催者との基本的な合意はなされているものの、具体的な条件等については、さらに協議することとされており、今後変更もあり得るもの。

■ 検討方向と課題

項目	課題
① 発売対象レースの増 ・土曜日、日曜日に開催する重賞競走を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の重賞競走を土日に変更した場合、広域委託発売額の減少が見込まれる ・発売額の比較（土日開催：インターネット発売増が期待、月曜開催：広域委託発売増が期待）
発売対象レースの増 ・1着賞金1千万円以上の重賞競走を創設する	<ul style="list-style-type: none"> ・重賞競走を新設する場合には、賞典費の増嵩と売上げのバランスを考慮 ・賞金財源の確保 ・レース体系の整備と、他のレースとの賞金バランスの調整
② J R A電話投票会員など全国のファンに支持されるレース編成 ・賞金水準の引上げ ・出走頭数の増加 ・芝競走の増	<ul style="list-style-type: none"> ・賞典費（賞金・手当）の増加となり、収支効果の試算が必要 ・芝競走の増が、売上げの向上に寄与するかは未知数

※ 発売対象レースについては、J R Aの開催場数や他地方競馬主催者の開催状況等により調整されることになっており、各主催者の意向がそのまま反映できるものではないこと。

① 薄暮競馬の実施状況

- 岩手競馬では、主に、月曜日の仕事帰りのファンをターゲットに、平成 20 年度から薄暮競馬を実施。以降、21 年度、22 年度と期間・曜日を拡大。
- 概ね日照時間の長い5月上旬から9月上旬までの間、最終レースの発走時刻を 17 時 30 分～50 分に繰り下げて実施。
- 実施レース数の増加（最終レース発走時刻の繰り下げ）は、広域委託発売先である他主催者や J R A 施設の開場時間の延長が必要となり、調整を要する。
- また、日没時間の早まる9月以降に期間を拡大するためには、レースの公正確保のため、ナイター設備が必要。

(1) 実施状況

年 度	J R A	岩手競馬			
	最 終 レ ー ス	全 体 最 終 レ ー ス	最 終 レ ー ス	薄 暮 時 期	日 数
20 年度	~6.13 16:40-17:00	16:50	月 17:50	6/9~8/11 の月曜日	9 日
21 年度	6.19~9.5 17:10	17:10	土・日 17:30 月 17:50	6/20~9/7 の全開催日 5/4-6、5/11~6/15 の月曜日	45 日
22 年度	9.11~10.3 16:40	17:10	土・日 17:30 月 17:45	5/10~6/14 の月曜日 6/19~9/6 の全開催日	43 日

※1 17:30 以降に最終レースが施行される場合を薄暮競馬とした。

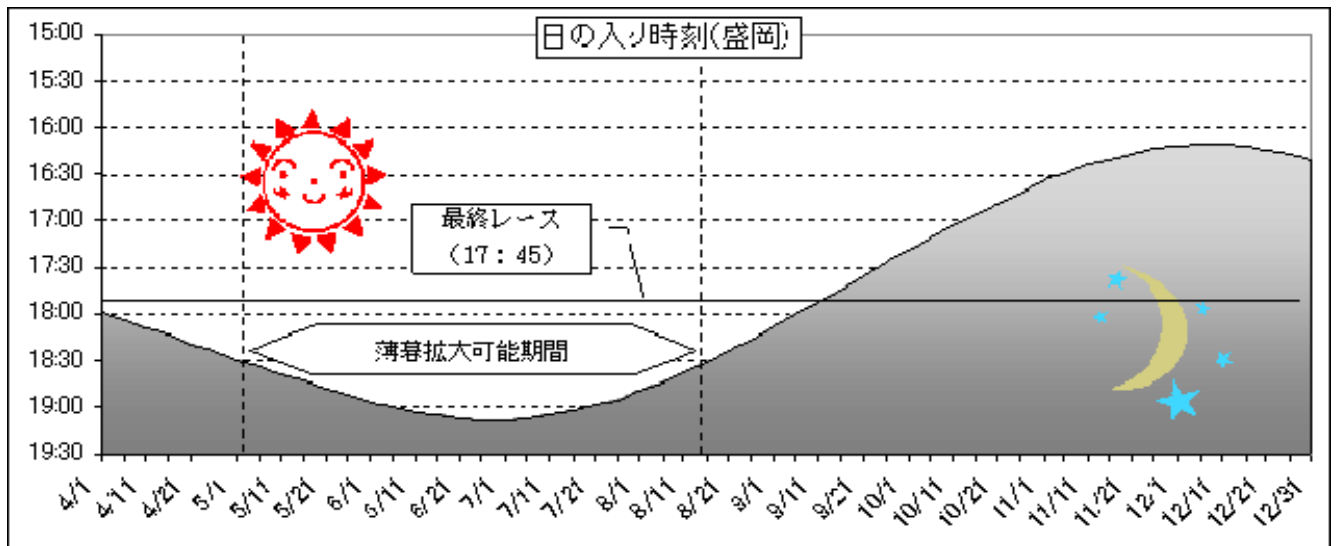
※2 最終レースの発走時刻は、日照時間の関係から、9月第2週以降、順次繰り上がる（最終レースの発走は遅くとも概ね日没の30分前）。

【発売額（22年度）】

	薄暮時 ①	全体 ②	①-②
第 11 レース平均発売額	19,610 千円	18,535 千円	1,075 千円

※ グレードレース施行日、祝日、GW及びお盆期間を除く。

(2) 日の入り時刻



(3) 薄暮競馬拡大の課題

① 照明施設の整備

- ・ 公正確保のため、岩手競馬では、日の入りの概ね30分前までに最終レースを実施。
- ・ これを超えてレースを開催するためには、ナイター設備の整備が必要となるほか、電気料などの経費も増嵩。

② J R A 及び他主催者との調整

- ・ 東京競馬場における発売は、岩手競馬の発走を J R A の最終レースの30分後若しくは17時30分までとすることを決め。
- ・ このため、ナイター設備なしでも、18時以降にレースを開催できる時期（概ね5月中旬から8月中旬）があるものの、東京競馬場での発売は困難。
- ・ また、委託発売を行っている他主催者の閉場時刻の延長も必要。

岩手競馬のレースと J R A ・ 他主催者の最終レース時刻の状況（平成 22 年度）

期間	岩手競馬発走時刻		最終レース			
			J R A (土・日)	金沢 (日)	笠松・名古屋 (月)	佐賀 (土・日)
4/3～6/13	9 R	15:50～16:00	16:40～ 17:00	16:40～50	16:00～40	16:45 ～17:15
	10R	16:30～40				
	11R	17:10～20				
6/19～9/5	9 R	16:10	17:10			
	10R	16:50				
	11R	17:30				
9/11～9/26	9 R	15:40	16:40			
	10R	16:20				
	11R	17:00				
10/2～10/10	9 R	15:25	16:40			
	10R	16:05				
	11R	16:45				
10/16-17	9 R	15:15	16:20			
	10R	15:55				
	11R	16:30				
10/23～	9 R	15:00	16:20	16:30	16:00～30	16:35～55
	10R	15:35				
	11R	16:10				

※ 10/23以降、岩手競馬の発走時刻はさらに早まっており、J R A 最終レース後の発売はないもの。

※ 南関東は、ナイターや薄暮開催を実施しているため、記載していない。

② 東京場外発売所での発売状況

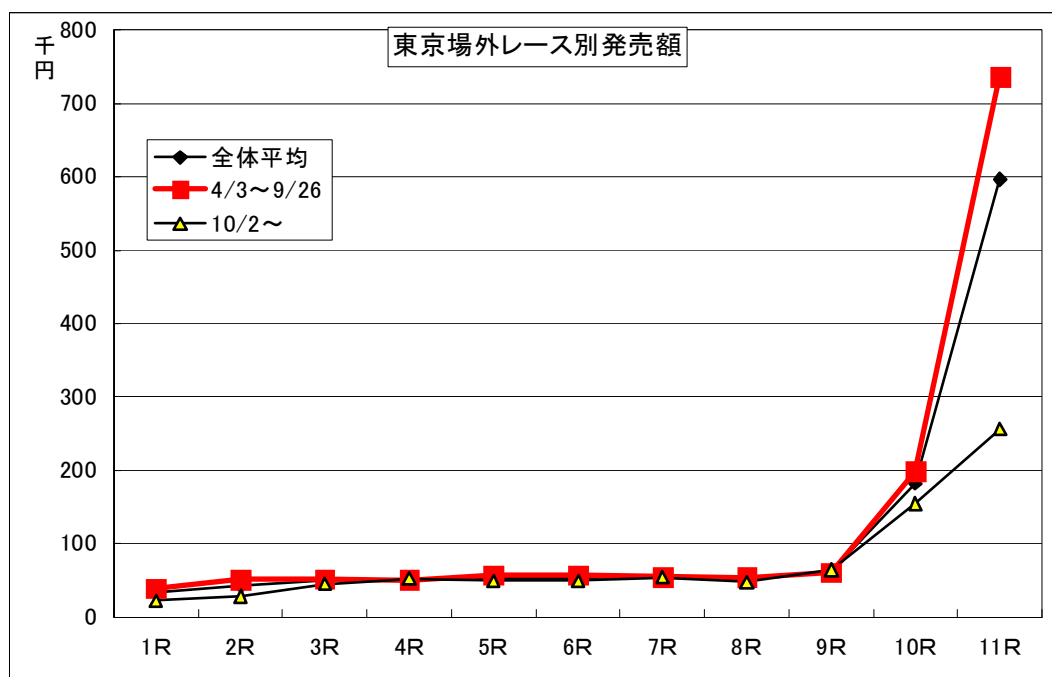
- 平成 22 年度は、日照時間の許す限り、J R A の最終レース後に岩手競馬を 1 レース実施。
- 通常、1 日の発売額は、メインレースである 10 レースをピークとする山なりを描くが、東京競馬場では、9 レースまで発売は低調に推移し、10 レースに増加、J R A の最終レース後となる 11 レースの発売が大幅に増加。

(1) 岩手競馬と J R A の最終レース時刻の状況 (平成 22 年度)

期間	岩手競馬発走時刻		J R A 最終レース
4/3~6/13	9 R	15:50~16:00	16:40~17:00
	10R	16:30~40	
	11R	17:10~20	
6/19~9/5	9 R	16:10	17:10
	10R	16:50	
	11R	17:30	
9/11~9/26	9 R	15:40	16:40
	10R	16:20	
	11R	17:00	
10/2~10/10	9 R	15:25	16:40
	10R	16:05	
	11R	16:45	
10/16-17	9 R	15:15	16:20
	10R	15:55	
	11R	16:30	
10/23~	9 R	15:00	16:20
	10R	15:35	
	11R	16:10	

※ 10/23 以降、岩手競馬の発走時刻はさらに早まっており、J R A 最終レース後の発売はないもの。

(2) 東京場外発売所でのレース別平均発売額 (平成 22 年度)



※ J R A が開催している土日における発売額であるもの。(前日発売を除いている。)

③ 岩手競馬における照明設備の状況

- 岩手競馬では、水沢競馬場・盛岡競馬場に調教用の照明設備を設置。
- 他の競馬場のナイター照明の平均照度が400～500ルクスであるのに対し、岩手競馬の調教用照明は50～100ルクスであり、公正競馬の確保のためには不十分。
- 現在の調教用照明は、コースの外側に設置されており、ナイター開催を実施するためには、スタンド側から視認性の確保のため、新たにコース内側に設置することが必要。加えて、パドック、装鞍所等への照明の設置が必要。
- なお、水沢競馬場については、電気供給設備の老朽化のため、ナイター照明の電力は確保できない。

岩手競馬の照明設備の概要

項目	水沢競馬場	盛岡競馬場
設置目的	調教用	調教用
設置時期	平成3、4年度	平成6、7年度
設置工事費	106百万円	約1,280百万円
設備概要	照明塔(20箇所) (1) 単独塔(H=18m) 16基 (2) スタンド屋上設置 3基 (3) テレトラック屋上設置 1基	照明塔(24箇所) (1) 単独塔(H=18m) 18基 (2) スタンド屋上設置 3基 (3) パトロールカー併設置 3基
	灯具 120器	灯具 180器
	平均照度 約50～100Lx ゴール照明 1,000W 6器	平均照度 約80～100Lx ゴール照明 ダート 1,070～2,990Lx 芝 1,900～2,340Lx
使用期間	通年で調教時(早朝)に使用	通年で調教時(早朝)に使用
参考 (コース周長)	ダート 1,200m	ダート 1,600m 芝 1,400m

④ 北海道競馬・高知競馬のナイター設備・発売状況

- 北海道競馬、高知競馬とも、平成 21 年度から通年でナイター開催を実施。
- いずれも地方競馬全国協会の活性化補助金を活用して整備したものであり、コースの平均照度は、北海道競馬が 450ルクス、高知競馬が 400ルクス。
- ナイター競馬開始以降、インターネット発売が増加しており、発売額に占める割合は、北海道が 5 割、高知県が 6 割に達する。

(1) ナイター設備の概要

項目	北海道競馬	高知競馬
設置目的	調教用、ナイター開催用	ナイター開催用
設置時期	平成 21 年 (H21.5.20～ナイター開催)	平成 21 年 (H21.7.24～ナイター開催)
設置工事費	約 900 百万円 (補助金 450 百万円) (新設)	約 153 百万円 (補助金 77 百万円) (既設照明照度の増強、新設)
設備概要 (既設含む)	照明塔 45 基 (1) 単独塔 (H=19m) 42 基 (2) スタンド屋上設置 3 基	照明塔 53 基 (うち新設 31 基) (1) 単独塔 (H=15、18m) 51 基 (2) パトロールカー併設設置 2 基
	灯具 約 600 器	灯具 約 300 器
	平均照度 450 Lx ゴール照明 2,000 Lx	平均照度 約 400 Lx ゴール照明 約 1,100 Lx
	パドック 照明塔 4 基 / 灯具 16 器	パドック 灯具 8 器
	使用期間	調教用：通年 (早朝) (開催時の 50%点灯) 開催用：日没前から午後 10 時頃まで
コース周長	ダート 1,600m	ダート 1,100m

(2) 発売状況 (売得金額)

(単位：百万円、%)

区分	H20		H21		H22		H22/H20	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
北海道	本場	839	7.4	659	5.7	465	4.1	55.4
	場外	6,494	57.3	5,641	49.1	5,258	46.8	81.0
	ネット	4,007	35.3	5,193	45.2	5,519	49.1	137.7
	計	11,340	100.0	11,493	100.0	11,242	100.0	99.1
高知県	本場	1,517	39.1	1,176	21.5	715	16.8	63.3
	場外	1,582	40.8	1,631	29.8	939	22.1	86.8
	ネット	782	20.1	2,673	48.8	2,603	61.1	487.5
	計	3,881	100.0	5,480	100.0	4,257	100.0	155.1
岩手県	本場	4,615	20.9	4,117	19.9	3,116	17.6	74.8
	場外	15,172	68.8	13,786	66.7	11,445	64.8	82.3
	ネット	2,250	10.2	2,777	13.4	3,102	17.6	150.0
	計	22,037	100.0	20,680	100.0	17,668	100.0	87.7

※ 1 地方競馬開催成績 (地方競馬全国協会) による。

※ 2 場外には広域委託発売のほか、専用場外施設での発売を含む。

※ 3 平成 22 年度は、22 年 12 月期までのものであり、平成 20 年度対比は、同期間のもの。

⑤ 岩手競馬施設での J R A 発売額の推移

- 岩手競馬施設での J R A 発売額は、平成 19 年度の水沢・盛岡競馬場での発売レース数の増、種市場外での発売開始もあり、平成 21 年度は、平成 18 年度に比べ 121.2%に増加。
- J R A を発売している施設での岩手競馬発売額は、その他の発売施設に比べて、大きく落ち込んでいない。

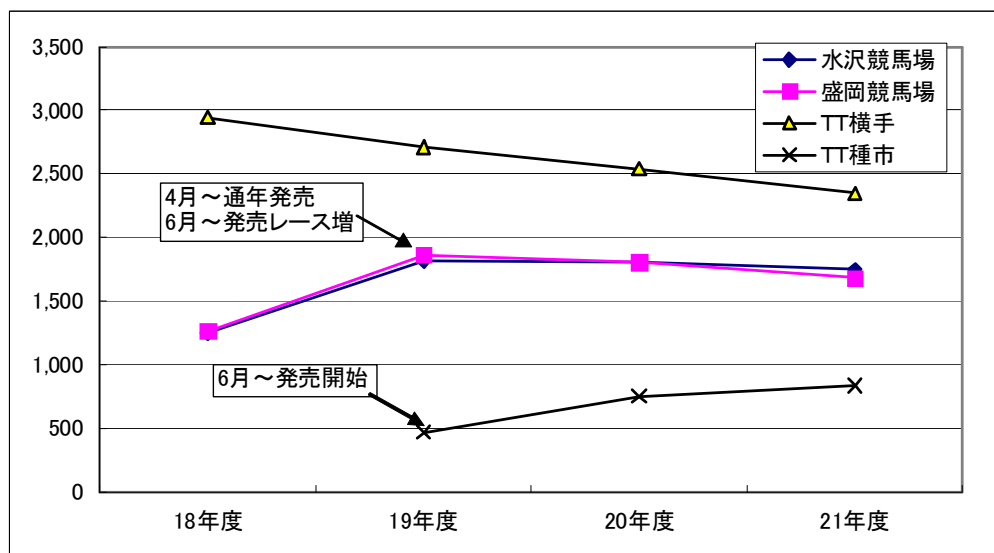
(1) 岩手競馬施設での J R A 発売額の推移

(単位：百万円、%)

区分	H18	H19	H20	H21	H22	H21/H18
水沢競馬場	1,245 (5,249)	1,815 (4,662)	1,805 (4,337)	1,747 (3,762)	1,241 (2,979)	140.3 (71.7)
盛岡競馬場	1,262 (4,818)	1,866 (3,640)	1,805 (3,121)	1,680 (2,829)	1,250 (2,235)	133.1 (58.7)
横手場外	2,942 (1,775)	2,713 (1,526)	2,538 (1,430)	2,345 (1,207)	1,372 (976)	79.7 (68.0)
種市場外	— (1,337)	469 (1,026)	751 (904)	834 (782)	596 (637)	— (58.5)
その他場外	— (7,347)	— (6,382)	— (5,607)	— (4,894)	— (3,953)	— (66.6)
計	5,449 (20,526)	6,863 (17,236)	6,899 (15,399)	6,606 (13,474)	4,459 (10,780)	121.2 (65.6)

※1 下段()は岩手競馬発売額であり、計欄は自場発売の合計。

※2 平成22年度は、J R A は22年12月まで、岩手競馬は通常開催期間(~1/10)までのもの。



(2) J R A 施設での岩手競馬発売額の推移

(単位：百万円、%)

区分	H18	H19	H20	H21	H22	H21/H18
ウインズ津軽	283	227	195	142	116	50.2
福島競馬場	149	155	100	78	57	52.3
東京競馬場	116	144	123	133	103	88.8
計	548	526	418	353	276	64.4

※ 平成22年度は、通常開催期間(~1/10)までのもの。

⑥ JRAファンの来場・購買動向

- JRAのGI開催日には、多数のファンが来場することから、岩手競馬発売額にも少なからず好影響を与えている。(ただし、一人当たりの発売額は低くなる傾向にある。)
- この増加した来場者のうち、半分程度は「男性：20歳～39歳」のJRAファンと考えられ、14時以降に急増して、GI発走直後の16時がピークになる来場動向となっている。
- 当日の一人当たり発売額から見ると、このJRAファン層は、主にGIレースの購入を目的としており、岩手競馬の購入金額はあまり多くはならない傾向と考えられる。
- 岩手競馬発売額の確保のためには、こういったJRAファン層に対するアプローチも必要。

(1) 岩手競馬來場者調査(平成21年6月6日～8日、7月11日、12日の5日間実施)

① 調査場所 盛岡競馬場

② 調査方法

- 入場口において、目視により入退場者を年齢別・性別区分を判別し、その数をカウント。
- 子供(20歳未満)、男性(20-39歳、40-59歳、60歳以上)、女性の5区分
- 入場開始の午前10時から、当日の岩手競馬メインレースまで、1時間毎に記録。

③ 調査実施日

調査日	当日の レース数	岩手競馬メインレース		JRAの主なレース
		発走時刻	レース名	
6/6(土)	11	16:30	特) かきつばた賞	ユニオンステークス(GIII)
6/7(日)	12	16:35	特) 早池峰賞	安田記念(GI)
6/8(月)	11	17:05	特) 東京カップ けやき賞	非開催日
7/11(土)	11	16:50	特) FM岩手杯	ジュライステークス(1600万下)
7/12(日)	11	16:50	重) ホールカップ	七夕賞(GIII)、フクオクステークス(GIII)

④ 調査結果

- 「男性60歳以上」の割合が最も大きい。
- 日曜は、家族連れでの来場が増え、若年層、女性・子供の割合が若干増加する傾向。

<表1> 「21年度 来場者調査」より、来場者数(盛岡競馬場)

(単位：人、%)

区分/調査日	6/6(土)		6/7(日)		6/8(月)		7/11(土)		7/12(日)		
子供	134	(5.0)	447	(7.5)	19	(1.4)	98	(5.4)	217	(7.1)	
男性	20～39	525	(19.7)	1,539	(25.9)	235	(17.6)	330	(18.1)	539	(17.6)
	40～59	590	(22.1)	1,618	(27.3)	375	(28.1)	574	(31.5)	855	(27.9)
	60～	1,048	(39.3)	1,293	(21.8)	507	(38.0)	539	(29.6)	913	(29.8)
	計	2,163	(81.2)	4,450	(75.0)	1,117	(83.7)	1,443	(79.2)	2,307	(75.4)
女性	367	(13.8)	1,039	(17.5)	199	(14.9)	282	(15.5)	536	(17.5)	
合計	2,664	(100.0)	5,936	(100.0)	1,335	(100.0)	1,823	(100.0)	3,060	(100.0)	

【参考】当日の盛岡競馬場における発売状況

発売額	25,187千円	41,025千円	22,724千円	27,202千円	34,397千円
一人当り発売額	9,454円	6,911円	17,021円	14,921円	11,240円

⑤ 盛岡競馬場での岩手競馬発売額及び一人当たり発売額

- 盛岡競馬場の一人当たり発売額は、この5日間では6,911円～17,021円と大きな開き。
- 日曜日は、勝馬投票券を購入できない子供や、比較的購入金額が少ない女性の来場比率が高いことから、一人当たりの発売額が低くなる傾向にある。
- 6/7(日)はJRAファンが、GIレースを目的として多数来場した影響で、岩手競馬発売額は最も大きくなっている。(ただし、一人当たりの発売額は最小。)

(2) JRAファンの来場動向

① 分析方法

- ・ JRAファンの来場動向が最も顕著に見られるJRAのG I競走実施日(今回は6/7 安田記念)を特異日として着目。6/7と、同じく日曜日である7/12の滞留人数の推移を比較した。

② 分析結果

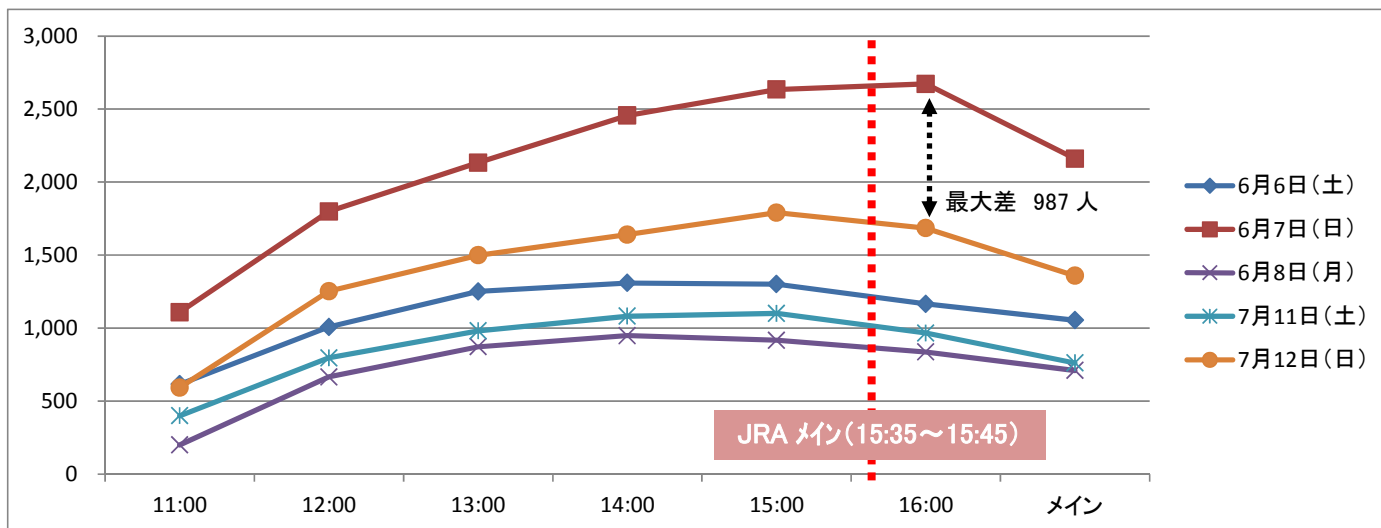
- 両日の滞留人数には、全体で500~1,000人程度の差があり、**G Iの集客効果が裏付けられた。**
- 6/7の人数増加分のうち、「**男性20歳~39歳**」が全体の半分程度を占めており、**JRAファン層の中心**と考えられる。
- 6/7の滞留人数は、**G I直後の16時をピークとし、岩手競馬メインレースの前に急落。**
特に、「**男性20歳~39歳**」は14時以降に急増し、16時をピークに岩手競馬メインレース時には、16時の約3分の2に急減するなど、**G Iを主目的とした短時間の滞留時間になっている**と考えられる。

<表2> 盛岡競馬場 時間別滞留人数

■ 総滞留者数

(単位:人)

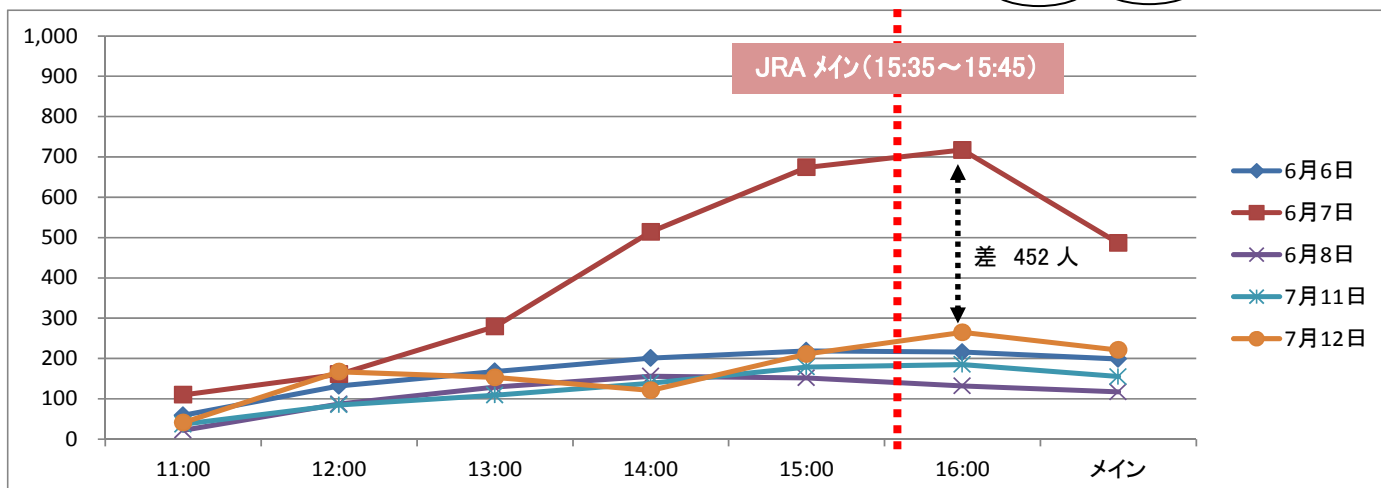
調査日/時間	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	メイン
6月7日(日)	1,108	1,798	2,132	2,456	2,634	2,672	2,160
7月12日(日)	592	1,252	1,499	1,640	1,790	1,685	1,358
6/7と7/12の差	516	546	633	816	844	987	802



■ (内数)男性 20歳-39歳

(単位:人)

調査日/時間	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	メイン
6月7日	110	161	279	514	674	717	486
7月12日	41	167	153	121	211	265	221
6/7と7/12の差	69	-6	126	393	463	452	265



⑦ 岩手競馬のダートグレードレース・重賞競走の状況

- 岩手競馬では、JRA・地方の交流競走であるダートグレードレースを3競走、その他重賞競走を21競走施行。

(ダートグレードレース)

- ダートグレードレースの発売額は、岩手競馬全体の発売額は毎年度減少する中でも、広域委託発売やインターネット発売の好調もあり、堅調に推移。自場発売においても、発売額は減少しているものの、岩手競馬通算よりも落ち込みは小さい。

(その他の重賞競走)

- その他の重賞競走は、自場発売が期待できる日曜日に11競走、広域委託発売及びインターネット発売が期待できる月曜日に8競走を施行。
- 1着賞金の最高額はダービーグランプリの800万円であり、その他は250万円～500万円、平均367万円。
- 発売額を見ると、広域委託発売先を多く確保できる月曜日が、日曜日を大きく上回る。

(1) ダートグレードレース施行状況 (平成22年度)

区分	距離等	1着賞金	施行日
マーキュリーカップ (JpnIII)	盛岡 2000m	2300万円	7/19(月)
クラスタースタールカップ (JpnIII)	盛岡 1200m	2300万円	8/16(月)
南部杯 (Jpn I)	盛岡 1600m	4500万円	10/11(月)

※ マーキュリーカップは国民の祝日である「海の日」、南部杯は同じく「体育の日」に施行。

(2) ダートグレードレースの発売額の推移

(単位：千円、%)

区分		H20	構成比	H21	構成比	H22	構成比	H22/H20
マーキュリー カップ	自場	46,927	19.7	42,818	16.1	37,677	13.8	80.3
	うち東京	408	0.2	751	0.3	816	0.3	200.0
	広域委託	164,184	69.1	176,259	66.3	185,173	68.0	112.8
	ネット	26,530	11.2	46,903	17.6	49,320	18.1	185.9
	計	237,641	100.0	265,980	100.0	272,170	100.0	114.5
クラスタースタール カップ	自場	31,521	24.3	31,178	17.0	27,273	15.9	86.5
	うち東京	372	0.3	—	—	419	0.2	112.6
	広域委託	75,973	58.5	122,962	67.1	102,340	59.7	134.7
	ネット	22,402	17.2	29,145	15.9	41,886	24.4	187.0
	計	129,896	100.0	183,285	100.0	171,499	100.0	132.0
南部杯	自場	71,967	17.2	74,047	15.0	66,110	13.2	91.9
	うち東京	6,080	1.5	8,584	1.7	6,474	1.3	106.5
	広域委託	301,221	72.1	374,404	75.8	350,113	70.0	116.2
	ネット	44,790	10.7	45,746	9.3	84,100	16.8	187.8
	計	417,978	100.0	494,197	100.0	500,323	100.0	119.7
岩手競馬 (1日当たり)	自場	117,555	69.8	102,853	65.0	86,935	58.5	74.0
	うち東京	1,489	0.9	1,663	1.1	1,307	0.9	87.8
	広域委託	36,645	21.8	36,658	23.2	38,469	25.9	105.0
	ネット	14,241	8.5	18,675	11.8	23,273	15.7	163.4
	計	168,441	100.0	158,186	100.0	148,678	100.0	88.3

※ 東京場外での発売は、各競走の施行日にJRAが開催していないため、競走の前日に発売したものの。

(3) 重賞競走の施行状況 (平成 22 年度)

(単位：1 着賞金/万円、発売額/百万円)

レース名	施行日	日	月	1 着賞金	各レースの発売額				備考
					計	自場	委託	ネット	
留守杯日高賞	4/19		●	250	38.2	12.3	18.2	7.7	地方交流
阿久利黒賞	5/2	●		250	27.0	17.2	5.5	4.3	
シアンモア記念	5/9	●		500	30.1	16.4	8.0	5.7	地方交流
ダイヤモンドカップ	5/31		●	250	63.9	13.8	36.2	13.9	
みちのく大賞典	6/20	●		500	26.4	16.7	3.8	5.9	地方交流
岩鷲賞	7/5		●	300	35.5	11.5	17.4	6.6	地方交流
オパールカップ	7/11	●		250	17.9	14.6	0.4	2.9	地方交流・芝
せきれい賞	7/18	●		300	27.3	14.2	9.5	3.6	地方交流・芝
ひまわり賞	7/25	●		300	17.3	14.3	0.3	2.7	
ビューチフル・ドリーマーカップ	8/30		●	400	50.9	13.2	26.7	11.0	地方交流
青藍賞	9/13		●	300	33.6	12.3	14.7	6.6	地方交流
ジュニアグランプリ	9/19	●		400	19.3	13.9	2.5	2.9	地方交流・芝
OROカップ	9/26	●		500	22.1	15.2	3.4	3.5	地方交流・芝
若駒賞	10/18		●	250	46.4	10.9	26.9	8.6	
不来方賞	10/24	●		300	23.9	14.5	6.9	2.5	
北上川大賞典	11/7	●		300	25.2	13.5	8.8	2.9	
南部駒賞	11/14	●		500	22.0	12.1	7.5	2.4	地方交流
ダービーグランプリ	11/22		●	800	62.3	18.2	29.5	14.6	地方交流
桐花賞	12/31	—	—	500	38.2	25.3	0.8	12.1	施行日指定
金杯	1/2	—	—	250	34.5	23.5	1.5	9.5	施行日指定
トウケイニセイ記念	1/10		●	300	40.7	18.7	16.3	5.7	
計		11R	8R	7,700	702.7	322.3	244.8	135.6	
日曜日平均					23.5	14.8	5.1	3.6	
月曜日平均					46.4	13.9	23.2	9.3	

※1 ダートグレード競走を除く。

※2 桐花賞 (12/31) 及び金杯 (1/2) は、施行日指定のため、計欄のレース数及び曜日平均欄の発売額に加えていない。

※3 留守杯日高賞及びビューチフル・ドリーマーカップは「グランダムジャパン」、ダイヤモンドカップは「ダービーウィーク」、若駒賞は「未来優駿」として、全国シリーズとして実施。

Ⅲ 開催形態別収支シミュレーションの方法（案）

1 基本的な考え方

- より効率的な開催形態のあり方を検討するため、一定の前提条件の下、盛岡競馬場・水沢競馬場の開催日数や、開催曜日を変更するとした場合の収支への影響、現行の体制のまま発売額が推移した場合の収支構造を試算。
- 試算の方法は、主に以下の3通りとする。
 - （開催競馬場）
 - ① 一場体制へ移行
 - ② 二場体制で一方の競馬場に開催をシフト
 - （開催曜日）
 - ③ 日・月開催に変更
 - （発売規模）
 - ④ 発売額のトレンドが現状のまま推移
- シミュレーション結果を基に、将来における岩手競馬の開催形態を選択し、その場合における追加投資や組織体制、コストの削減等の課題及び解決方を検討。

2 シミュレーションの前提

- (1) 水沢開催・盛岡開催、曜日別の1日に当たり発売額を基に、開催日数の変動による発売額の増減を試算。
- (2) 開催日数が減少する場合には、同日数を広域受託発売に振り替え。
- (3) 開催競馬場及び開催曜日を変更する場合、変動する経費は、
 - ① 競走馬輸送費
 - ② 賞典費
 - ③ その他開催経費（投票従事員、清掃、警備、水道光熱費、優待バス、走路整備、他）
- (4) 一場体制に移行した場合、場外発売所となる廃止（休止）競馬場の発売額は、一定程度減少するものと想定。
- (5) 発売規模のシミュレーションにおける賞典費、事業運営費及び財務経費の割合は、新計画に定める経営指標（それぞれ8%、16%、1%）による。

3 シミュレーションの方法（具体的な方法は、次ページ以降参照）

(1) 開催競馬場	① <u>一場体制に移行</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両競馬場の厩舎利用（水沢・盛岡） ・ 一方の厩舎のみ利用（水沢・盛岡）
	② <u>二場体制で一方の競馬場に開催をシフト</u> （両厩舎利用）
(2) 開催曜日	③ 現行の土・日・月開催から、 <u>日・月開催に移行</u> （土曜日開催の取り止め）
(3) 発売規模	④ 現行の開催形態・発売体制を維持し、 <u>発売額が現在のトレンドで推移</u>

(1) 開催競馬場の検討

試算のパターン

- ① 一場体制については、「両厩舎を利用」するかどうかにより、4パターンを試算
 - ・ 一方の厩舎のみを利用する場合は、入厩頭数が制限され、開催日数が減少
 - ・ 盛岡一場体制の場合は、冬期の開催困難により、開催日数が減少
- ② 二場体制については、いずれかの競馬場にシフトした場合の2パターンを試算

形態	競馬場	馬房数	開催(可能)日数	広域受託発売日数
現行	盛岡 水沢	860馬房 水沢 600馬房 盛岡 260馬房	22開催 130日 水沢 14開催 82日 盛岡 8開催 48日	220日
一場体制	両厩舎を利用	A 水沢 860馬房 両厩舎利用	22開催 130日	220日
		B 盛岡 860馬房 両厩舎利用	17開催 102日(▲28日) ※冬期走路凍結のため、4~11月の開催	248日 ※28日増→岩手競馬開催の減に相当
	いずれか一方の厩舎を利用	C 水沢 600馬房 水沢 600馬房	22開催 110日(▲20日) ※馬資源減のため、1開催5日間に減	240日 ※20日増→岩手競馬開催の減に相当
		D 盛岡 260馬房 盛岡 260馬房	17開催 34日(▲96日) ※馬資源減のため1開催2日間に減 冬期走路凍結のため4~11月の開催	316日 ※96日増→岩手競馬開催の減に相当
二場体制	両厩舎を利用	E 盛岡 水沢 860馬房 両厩舎利用	22開催 130日(水沢へシフト) 水沢 17開催 100日 盛岡 5開催 30日(グレートレース時期)	220日
		F 盛岡 水沢 860馬房 両厩舎利用	22開催 130日(盛岡へシフト) 水沢 7開催 40日(4、11~3月) 盛岡 15開催 90日(5~11月)	220日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現行	水沢③	盛岡②	水沢②	盛岡③	水沢②	盛岡③	水沢⑥					水沢①
A	水沢 4~1月・3月(22開催 130日間) ※1開催 6日間											
B	盛岡 4~11月(17開催 102日間) ※1開催 6日間											
C	水沢 4~1月・3月(22開催 110日間) ※1開催 5日間											水沢①
D	盛岡 4~11月(17開催 34日間) ※1開催 2日間											
E	水沢⑦			盛岡③	水沢③	盛岡②	水沢⑥					水沢①
F	水沢②	盛岡⑮						水沢④				水沢①

試算による分析

① 収支に及ぼす効果

要 因	収入への影響	支出への影響
開催日数の減少	▲岩手競馬発売額が減少	○売上原価、賞典費、開催経費、競走馬輸送経費、走路維持経費が減少
廃止競馬場の専用場外化	▲自場発売額が減少	○開催経費が減少
広域受託発売日数の増加	○受託協力金（手数料）が増加	▲開催経費が増加
盛岡競馬場の廃止の場合	▲J R A認定競走補助金が減少	○芝走路維持費が減少
水沢競馬場の廃止の場合		○土地借料が減少

② 地域経済や雇用への影響

地域経済	▲発売額（事業規模）の減少により、直接的な経済効果（開催経費、賃金等）及び間接効果を含めた経済波及効果が減少
雇 用	▲一場体制あるいは一方の競馬場へのシフトにより、岩手競馬で働いている方々（厩舎関係者、従事員、取引先企業、食堂業者等）が減少

③ 追加費用

施設整備	※開催日数の確保、競走馬輸送経費の削減のために「厩舎」を増設する方法はあるが、多額の追加投資が見込まれることから、今回の試算からは除外
撤去費用	▲水沢競馬場を廃止する場合、専用場外として使用しないスタンドは撤去

(2) 開催曜日の検討

試算のパターン

次の2つのパターンを試算。

- ① 全ての土曜日開催を行わず、完全な日・月開催に移行
- ② 特に発売額が落ち込む11月以降の土曜日開催を取り止め

形態	開催日数		広域受託 発売日数
現行	130日	土：39日、日：43日、月：43日、他：5日	220日
通年日月開催 (1開催4日)	91日	土：0日、日：43日、月：43日、他：5日	259日
11月以降日月開催	119日	土：28日、日：43日、月：43日、他：5日	231日

試算による分析

① 収支に及ぼす効果

要因	収入への影響	支出への影響
開催日数の減少	▲岩手競馬発売額が減少	○売上原価、賞典費、開催経費、競走馬輸送経費、走路維持経費が減少
広域受託発売日数の増加	○受託協力金(手数料)が増加	▲開催経費が増加

② 地域経済や雇用への影響

一場体制・二場体制の検討に同じ。

(3) 発売規模の検討

試算の方法

現行の開催日数、体制のまま、これまでのトレンドで発売額が推移した場合の5年後の収支状況を試算。

区分		試算方法
岩手競馬	自場発売	23年度計画額×過去のトレンド
	広域委託発売	
	インターネット発売	
	計(a)	
その他収入(b)		23年度計画額で固定 (23年度限りの特殊要因を除く)
売上 価()		23年度計画での割合
総利益() (a) (b)-()		
賞典費()		売上げの8%
事業運営費()		売上げの16%
経費()		23年度計画額で固定
経常 益()-() () ()		

試算による分析

- ① コストの所要削減額
- ② 賞典費の状況

① 自場発売の状況（施設別・曜日別・開催競馬場別）

- 発売所別では、盛岡競馬場、種市・安代場外の減少率が大きく、特に盛岡競馬場は、大通場外の設置（H19）の影響もあり、場外時の落ち込みが大きい。
- 曜日別では、自場発売の減少率に大きな違いはないが、南関東での委託発売ができず、JRAとの日程重複のためインターネット発売の伸びが期待できない土曜日・日曜日の減少率が相対的に大きい。
- 開催場別では、水沢開催と盛岡開催とで大きな違いはない。

（１）発売所別発売額の推移

（単位：百万円、％）

区 分			18年度	21年度	21/18	
自場発売	県内	競馬場	水沢競馬場	5,249	3,762	71.7
			盛岡競馬場	4,818	2,829	58.7
			小計	10,067	6,591	65.5
		場外	宮古場外	470	348	73.9
			釜石場外	1,085	694	63.9
			種市場外	1,337	782	58.5
			安代場外	760	440	57.9
			大通場外	—	292	—
			電話投票	265	—	—
	小計		3,917	2,556	65.2	
	計	13,984	9,147	65.4		
	県外	横手場外	1,775	1,207	68.0	
		山本場外	741	486	65.6	
		三本木場外	2,669	1,703	63.8	
		十和田場外	808	578	71.6	
		つがる場外	283	142	50.0	
		福島場外	149	78	52.6	
		東京場外	117	133	114.4	
		計	6,542	4,327	66.2	
計	20,526	13,474	65.6			
広域委託発売			6,934	4,802	69.3	
インターネット発売			901	2,447	271.5	
岩手競馬 計			28,361	20,723	73.1	

（参考）盛岡競馬場＋大通場外	4,818	3,121	64.8
----------------	-------	-------	------

水沢競馬場（1日当たり）	本場時	46	32	69.6
	場外時	32	23	71.6
盛岡競馬場（1日当たり）	本場時	45	30	67.6
	場外時	30	17	55.7

※ 平成18年度は、水沢開催73日、盛岡開催59日。
平成21年度は、水沢開催83日、盛岡開催48日。

(2) 曜日別発売額の推移 (1日当たり発売額)

(単位：百万円、%)

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	21/18	22年度	
土曜日	自場	133(75.2)	115(75.9)	99(77.0)	88(70.7)	65.9(▲4.5)	73(67.3)
	委託	39(21.8)	29(19.1)	19(14.6)	22(17.7)	57.0(▲4.1)	19(17.4)
	ネット	5(3.0)	8(5.0)	11(8.4)	14(11.6)	272.1(11.3)	17(15.4)
	計	177(100.0)	152(100.0)	129(100.0)	124(100.0)	70.1	109(100.0)
日曜日	自場	183(82.4)	157(82.8)	132(80.7)	117(77.1)	63.7(▲5.3)	99(74.8)
	委託	34(15.3)	25(13.5)	23(13.7)	22(14.6)	64.9(▲0.7)	19(14.3)
	ネット	5(2.3)	7(3.7)	9(5.6)	12(8.3)	250.1(6.0)	14(11.0)
	計	222(100.0)	189(100.0)	164(100.0)	151(100.0)	68.1	132(100.0)
月曜日	自場	126(58.1)	107(57.6)	94(49.6)	86(50.1)	68.3(▲8.0)	74(41.3)
	委託	83(38.0)	66(35.3)	74(39.0)	60(34.9)	72.6(▲3.1)	69(39.1)
	ネット	8(3.9)	13(7.1)	21(11.4)	26(15.0)	308.2(11.1)	35(19.6)
	計	217(100.0)	186(100.0)	189(100.0)	172(100.0)	79.2	178(100.0)

※1 ダートグレードレース施行日、お盆、年末年始、祝日を除く。

※2 発売額の中の()内は占有率。

※3 22年度は、通常開催期間(4/3~1/10)のもの。

【水沢開催】

(単位：百万円、%)

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	21/18	22年度		
						(冬期除き)		
土曜日	自場	137	117	99	87	63.5	75	81
	委託	36	27	18	21	58.2	18	18
	ネット	5	8	10	15	297.0	16	18
	計	178	152	127	123	68.9	109	117
日曜日	自場	185	156	132	114	61.6	99	106
	委託	36	24	22	20	56.9	19	20
	ネット	5	7	9	13	261.7	15	16
	計	226	187	163	147	65.1	133	142
月曜日	自場	128	106	91	84	65.5	74	79
	委託	80	60	65	61	76.5	66	75
	ネット	8	13	19	27	335.3	33	36
	計	216	179	175	172	79.5	173	190

※ 水沢開催は、10レース施行や降雪により発売額が減少する冬期を除くと、盛岡開催の発売額を上回る。

【盛岡開催】

(単位：百万円、%)

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	21/18	22年度	
土曜日	自場	128	112	100	88	69.3	72
	委託	42	31	21	24	56.8	21
	ネット	6	8	11	14	242.4	17
	計	176	151	132	126	71.9	110
日曜日	自場	180	158	133	120	66.8	99
	委託	32	27	23	25	78.2	18
	ネット	5	7	9	13	237.4	15
	計	217	192	165	158	72.7	132
月曜日	自場	123	108	98	90	72.8	74
	委託	87	72	85	58	67.1	76
	ネット	9	14	24	25	271.7	39
	計	219	194	207	173	78.8	189

② 広域受託・委託発売の状況

- 地方競馬主催者間で相互に勝馬投票券を発売する「広域受委託発売」は、他主催者に発売を委託した場合の委託発売額に見合うよう、他主催者の発売を受託するいわゆる「金額バーター方式」が基本。
- このため、受託発売については、「金額バーター方式」で相互発売している主催者の発売日数を確保したうえで、残りの受託発売日は、受託発売額が大きく、より多くの収益が期待できる南関東主催者を発売。
- 22年度においては、全日発売（1日を通して全レースを発売する方式）を委託している主催者は、ばんえい及び南関東主催者を除く全ての地方競馬主催者。一方、全日発売を受託している主催者は、北海道、金沢、名古屋、笠松、佐賀及び荒尾と、発売額が大きい南関東主催者。
- また、ダートグレード競走及びシリーズ競走（ダービーウィーク、未来優駿、グランダム・ジャパン等）については、全ての地方競馬主催者による広域場間場外発売に関する申し合わせにより受委託発売。

(1) 各主催者の開催日程（平成22年度）

名称	主催者（競馬場）	土	日	月	火	水	木	金	備考
岩手	岩手県競馬組合（盛岡・水沢）	★	★	★					
北海道	北海道（旭川・札幌・門別）	☆	☆		★	★	★		
ばんえい	帯広市（帯広）	★	★	★					
南関東	南関東（浦和・船橋・大井・川崎）			★	★	★	★	★	
金沢	石川県・金沢市（金沢）	☆	★	☆	★				
笠松	岐阜県地方競馬組合（笠松）			☆	★	★	★	★	相互隔週開催
名古屋	愛知県競馬組合（名古屋）			☆	★	★	★	★	
福山	福山市（福山）	★	★						
兵庫	兵庫県競馬組合（園田・姫路）				★	★	★		
高知	高知県競馬組合（高知）	★	★						
佐賀	佐賀県競馬組合（佐賀）	★	★	☆					発売等システム統合
荒尾	荒尾市（荒尾）			☆			★	★	

★：各主催者の開催日 ☆：岩手競馬の発売委託先 ■：岩手競馬施設での受託発売

(2) 広域委託・受託発売の状況（平成22年度）

（単位：百万円、%）

主催者	広域委託発売① （～1.10）	1日 当たり	広域受託発売② （～1.31）	1日 当たり	差額 （①－②）	備考（広域委託発売）
帯広	49 (1.0)	4	14 (0.2)		35	土日中心に1、2レース発売
北海道	243 (5.1)		115 (2.0)		128	土日の全日又は4レース発売
南関東	891 (18.7)		4,263 (67.9)	37	▲3,372	月の1日2レース発売
金沢	699 (14.7)	10	717 (12.3)	19	▲18	土月のほぼ全日発売
笠松	206 (4.3)	8	231 (3.9)	14	▲25	月の全日又は2レース発売
愛知	375 (7.9)	16	349 (5.8)	16	26	月の全日又は2レース発売
兵庫	77 (1.6)	7	29 (0.5)		48	
福山	48 (1.0)	6	31 (0.4)		17	
高知	100 (1.9)	5	37 (0.5)		63	
九州	佐賀		229 (1.9)	28		月曜の全日
	荒尾		296 (4.5)	16		土日の1、2レース
計	998 (20.9)	17	525 (6.4)		473	
その他	1,082 (22.9)					
合計	4,770 (100.0)		6,312 (100.0)		▲1,542	

※1 1日当たり → 全日発売した場合の、1日当たりの発売額

※2 広域委託発売の「佐賀・荒尾」は、発売・払戻システムを共同センターで一括処理しているため、合算。

※3 広域委託発売の「その他」は、ニュートラック上山、BAOO東日本・西日本

(3) 発売所別の自場発売額・広域受託発売額（平成 22 年度：～1.31）

（単位：百万円、％）

区 分		自場発売①	広域受託発売②	①－②	
県内	競馬場	水沢競馬場	2,979	982	1,997
		盛岡競馬場	2,236	1,290	946
		小計	5,215	2,272	2,943
	場外	宮古場外	268	259	9
		釜石場外	556	453	103
		種市場外	637	345	292
		安代場外	353	257	96
		大通場外	278	460	▲182
		小計	2,092	1,774	318
	計	7,307	4,046	3,261	
	県外	横手場外	976	576	400
山本場外		418	354	64	
三本木場外		1,354	867	487	
十和田場外		449	439	10	
つがる場外		116	30	86	
福島場外		57	—	57	
東京場外		103	—	103	
計		3,473	2,266	1,207	
合 計		10,780	6,312	4,468	
(参考) 盛岡競馬場＋大通場外		2,514	1,750	764	

※1 つがる場外では、主にダートグレード競走のうち Jpn I 競走施行日と岩手競馬発売日に広域受託発売を実施。

※2 福島・東京場外では、広域受託発売は行っていない。

③ 盛岡・水沢競馬場の概要

区分	盛岡競馬場	水沢競馬場	
概略	○平成8年オープンの全国有数の競馬場 ○高低差のある、ダート 1600mと地方競馬唯一の芝 1400mの2つのコース（左回り） ○5月中旬から10月下旬に、528レース実施 ○厩舎は13棟（260馬房）	○昔ながらの雰囲気を残す競馬場 ○ダート 1200mのフラットなコース（右回り） ○4月から翌年3月まで、883レース実施 ○厩舎は30棟（600馬房）	
ダートコース	1,600m×25m（最大高低差4.4m） フルゲート14頭（最大16頭） ※ 世界規格のマイルコース	1,200m×20m（フラットなコース） フルゲート12頭	
芝コース	1,400m×25m 最大高低差4.6m フルゲート14頭 ※ 全国の地方競馬で唯一の芝コース		
開催回数	8開催 48日	14開催 82日	
レース	・ダート（1000m～3000m） 478レース ・芝（1000m～2400m） 50レース	・ダート（850m～2500m） 883レース	
主な レース 22年度	4月	●日高賞（3歳牝 1600/250万円）	
	5月	●ダイヤモンドカップ（3歳 2000/250万円） 阿久利黒賞（3歳 1600/250万円） シアンモア記念（オープン 1600/500万円）	
	6月	●みちのく大賞典（オープン 2000/500万円）	
	7月	●オパールカップ（3歳◎1700/250万円） ●せきれい賞（オープン◎2400/300万円） ★マーキュリーカップ（GⅢ）（2000/2300万円） ひまわり賞（3歳牝 2000/300万円）	●岩鷲賞（オープン 1400/300万円）
	8月	★クラスターカップ（GⅢ）（1200/2300万円）	●ビューチフル・ドリーマーカップ （オープン牝 1900/400万円）
	9月	●ジュニアグランプリ（2歳◎1600/400万円） ●OROカップ（オープン◎1700/500万円）	●青藍賞（オープン 1600/300万円）
	10月	★南部杯（GⅠ）（1600/4500万円） 若駒賞（2歳 1600/250万円） 不來方賞（3歳 2000/300万円）	
	11月		北上川大賞典（オープン 2500/300万円） ●南部駒賞（2歳 1600/500万円） ●ダービーグランプリ（3歳 2000/800万円）
	12月		桐花賞（オープン 2000/500万円）
	1月		金杯（3歳 1600/250万円） トウケイニセイ記念（オープン 1600/300万円）
馬房	13棟 260馬房	30棟 600馬房	

※ 主なレース ●→地方競馬全国交流競走 ★→ダートグレード競走

開催日程（4～10月は、2～3開催ごとに、水沢・盛岡競馬場交互に開催。冬場は、水沢開催）

競馬場	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水沢	■			■		■			■	■	■	
盛岡		■	■		■	■	■	■				

区 分	盛岡競馬場	水沢競馬場
所在地	盛岡市新庄字上八木田 1 0	奥州市水沢区姉体町阿久戸 1 - 2
敷地面積	1,264,423.71 m ² (38万3,158坪) ※ 組合有地	354,046.74 m ² (10万7,287坪) ※ 組合有地 226,520.29 m ² (64%) ※ 民有地 127,526.45 m ² (36%)
スタンド	鉄骨造 地上4階・地下1階建て	鉄骨鉄筋コンクリート造 4階建て
	18,878.00 m ² (5,721坪)	11,262.84 m ² (3,413坪)
	平成8年利用開始 収容人員6,000人	昭和48年利用開始 収容人員10,481人
テレトラック		鉄骨造 4階建て
		6,828.44 m ² (2,069坪)
		平成3年利用開始 収容人員3,661人
駐車場	2,832台 (無料)	(民間の有料駐車場)
景観等	・競馬場正面からの岩手山 ・「馬」をテーマとした彫刻10個	・150本を越える桜並木 ・夏まつりの花火

全国の競馬場 (地方競馬)

主催者	競馬場	一周 (m)	走行方向		備 考
北海道	門 別	1,600		右回り	ナイター設備
岩 手	盛 岡	1,600・芝1,400	左回り		
	水 沢	1,200		右回り	
埼 玉	浦 和	1,200	左回り		
千 葉	船 橋	1,400・1,250	左回り		
特別区	大 井	1,600・1,400		右回り	ナイター設備
神奈川	川 崎	1,200	左回り		ナイター設備
石川・金沢	金 沢	1,200		右回り	
岐 阜	笠 松	1,100		右回り	
愛 知	名古屋	1,100		右回り	
	兵 庫	園 田	1,051		右回り
	姫 路	1,200		右回り	
福 山	福 山	1,000		右回り	
高 知	高 知	1,100		右回り	ナイター設備
佐 賀	佐 賀	1,100		右回り	
荒 尾	荒 尾	1,200・1,000		右回り	